

**『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』
有効性の検証に関する報告書
【最終報告書】**

平成 25 年 8 月

国土交通省 近畿地方整備局

『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』

有効性の検証に関する報告書

I. 「はなやか関西～文化首都年～」の有効性検証.....	1
1. 実施した取組.....	1
(1) 関西各地の「人形浄瑠璃」取組参加団体(44 団体)をネットワーク化.....	1
(2) コア事業((財)徳島県文化振興財団が実施).....	2
(3) 実行委員会が実施する取組.....	3
①「人形浄瑠璃」フォーラム	3
②「人形浄瑠璃」ツアー	5
③プロモーション事業	6
④「人形浄瑠璃」タイアッププログラム.....	9
2. 効果の把握と課題の抽出	11
(1) 効果と課題.....	11
①「はなやか関西～文化首都年～」及び各取組参加団体の活動の認知度向上.....	11
②地域振興・経済波及効果	14
③インバウンド観光	15
(2) 効果と課題の総括	16
①「はなやか関西～文化首都年～」及び各取組参加団体の活動の認知度向上.....	16
②地域振興・経済波及効果	16
③インバウンド観光	16
(3)「関西のブランド力向上推進有識者委員会」委員の意見	16
II. 次年度以降の展開方策	18
1. 次年度以降の展開方策について.....	18
(1) 基本的な考え方	18
(2) 今年度の効果と課題を踏まえた具体的な取組方針について.....	18
①「はなやか関西～文化首都年～」の認知度向上に向けて	19
②地域振興・経済波及効果の強化に向けて	19
③インバウンド観光の強化に向けて	20
2. 「人形浄瑠璃」(2012 年度)の継続について	20

I.「はなやか関西～文化首都年～」の有効性検証

平成 24 年度に実施した『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』(以下、「本事業」という。)に関する各取組について、関西全体にもたらす影響等(「人形浄瑠璃」に対する普及啓発、伝統文化の継承、地域資源活用・連携強化(関西ブランドの創造)、情報発信等)について分析し、その有効性を検証する。

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」取組内容

国土交通省

■ コア事業(財)徳島県文化振興財団が開催)

全国人形芝居フェスティバル(国民文化祭)

日時:平成24年10月20日(土)～21日(日)

会場:あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

■全国の人形芝居の上演!

■「人形浄瑠璃街道」魅力発信シンポジウムも開催!

阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル

日時:平成24年9月29日(土)～30日(日)

(30日は台風により中止)

会場:あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

■徳島県内の人形浄瑠璃が集結!

■ 実行委員会が実施する取組

「人形浄瑠璃」フォーラムの実施

日時:平成24年10月6日(土) 11:00～16:30

会場:大阪歴史博物館 4階 講堂

- ・古典芸能研究センター長 飯口弘之氏の基調講演!
- ・人形浄瑠璃文楽の文楽人形浄瑠璃とミニ公演!
- ・海外公演の経験もある南淡中学校郷土芸能部の人形浄瑠璃上演!
- ・学生による人形浄瑠璃を通じた関西の魅力発信アイデア発表!

「人形浄瑠璃」ツアーの実施

関西各地の人形浄瑠璃に関する取組に触れていただき地域のファンになってもらうことで、ひとづくり・ものづくり・地域づくりの促進を図ります。

- ・演劇人形座復活演目の観劇会【平成24年11月1日(木)】
- ・大洲農村舞台職員と阿波の木偶に触れる旅【平成24年11月15日(土)】
- ・文楽ゆかりの地めぐり・文楽鑑賞の旅【平成25年1月14日(月)】

プロモーション事業

【公式ガイドブックによる広報】

【HP・facebookによる広報】
http://www.facebook.com/hanayaka.kansai2012

取組参加団体・構成機関からの意見を参考に各方面へ戦略的に配付!

【配布先】
・文化会館・公民館
・観光協会等
・美術館・図書館などの公共施設
・国立文楽劇場
・高速道路PA、道の駅、私鉄等
・県庁・市役所等のロビー 等

【チラシの作成・配付】

1. 実施した取組

(1) 関西各地の「人形浄瑠璃」取組参加団体(44 団体)をネットワーク化

取組参加団体が実施する各取組を本事業のプロモーションで紹介するとともに、有志の団体も参画する実行委員会を組成し、具体的な取組内容の検討及び意見交換の場とした。



(2) コア事業((財)徳島県文化振興財団が実施)

今年度より、「自立した取組の推進」及び「事務局の負担軽減」という2つの観点から、「コア事業」(テーマのメインとなるプログラムを公募し決定団体が主体的に実施する)体制を試行している。

平成24年度のコア事業として、財団法人徳島県文化振興財団により

①第15回 阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル (H24. 9. 29～30)

②全国人形芝居フェスティバル (H24. 10. 20～21)

が実施された。実施概要は以下のとおりである。

(財)徳島県文化振興財団

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」コア事業の実施結果概要

第15回 阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル

日時：平成24年9月29日(土) 13:00～17:00
30日(日) ※30日は台風のため中止

場所：あわぎんホール(徳島市)

来場者数：約400人

概要

- ①徳島県内の人形浄瑠璃芝居団体による上演
- ②三番叟まわしをはじめ、7外題を上演

全国人形芝居フェスティバル

日時：平成24年10月20日(土)・21日(日) 10:00～17:00

場所：あわぎんホール(徳島市)

来場者数：20日(土) 約 800人
21日(日) 約1,400人

概要

- ①全国の人形芝居の上演
北は山形県から南は大分県まで、全国から14府県17団体が集結し個性あふれる人形芝居を上演
- ②「人形浄瑠璃街道魅力発信シンポジウム」
 - ・テーマ：交流と連携が創る関西人形浄瑠璃の未来
 - ・基調講演：河内厚郎氏(人形浄瑠璃街道連絡協議会アドバイザー)
 - ・パネルディスカッション
コーディネーター：河内厚郎氏
パネリスト：三林京子氏(女優、落語家)
アレックス・カー氏(東洋文化研究家)
平田進也氏((株)日本旅行)
山見嘉啓氏(南あわじ市教育委員会)
吉田一紀氏(阿波人形浄瑠璃振興会)
- ③阿波人形浄瑠璃と演劇とを融合した新作「阿波の心～浄瑠璃の風に吹かれて～」の初演
- ④その他
 - ・各出演団体の協力を得て、上演後にお国自慢を披露。
また、お国自慢商品を抽選によりプレゼント(ホワイエ)。
 - ・各府県の観光情報コーナー(2階特別展示室)
 - ・人形浄瑠璃街道PR(パネル展示)
 - ・ワークショップ
人形とのふれあいコーナー
人形遣い体験コーナー、大夫体験コーナー 他
- 「阿波木偶特別展」併催
阿波木偶の展示、制作過程の実演、パネル展示等。
- 阿波木偶資料館(常設展)リニューアル

(3) 実行委員会が実施する取組

①「人形浄瑠璃」フォーラム

関西の“ほんまもん”「人形浄瑠璃」の魅力・歴史・取組等について広く知っていただくことで、「人形浄瑠璃」に関連する地域づくり活動を活性化させ、「文化首都圏・関西」の形成を目的に実施した。また、コア事業「全国人形芝居フェスティバル」のプレイベントとしての位置づけも持たせている。

【開催時期】

平成24年10月6日(土) 11時00分～16時30分(入場無料:先着申込順)

【会場】

大阪歴史博物館 4階 講堂

【参加者】

181名(市民、地域づくり関係者、文化関係者、行政 等)

【タイトル】

はなやか関西～文化首都年～2012『人形浄瑠璃』フォーラム
～文化首都圏・関西の形成を目指して～

【御登壇者(敬称略)】

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」フォーラム 登壇者 プロフィール(敬称略)

阪口 弘之 さかぐち・ひろゆき 基調講演 神戸女子大学・古典芸能研究センター長

1943年滋賀県生まれ。大阪市立大学名誉教授。浄瑠璃・説経など、近世芸能史の総合的解明を研究の柱とする。COE(大阪市立大学)拠点リーダーとして、日本文化の国際交流研究と教育を推進。日本芸術振興会(国立劇場)の伝統芸能養成事業にも長年取り組む。ハンプルク大学客員教授、日本近世文学学会編集委員長、常任委員、演劇研究会代表などを歴任。



河内 厚郎 かわうち・あつろう 実行委員長 神戸夙川学院大学教授

1952年西宮市生まれ。一橋大学法学部卒。1987年から「関西文学」編集長を二期15年務める。NHK番組審議員、NHKラジオセンター21世紀プロジェクト委員、毎日新聞紙面審議員などを歴任。阪急文化財団理事、兵庫県立芸術文化センター特別参与。著書に「淀川ものがたり」「わたしの風姿花伝」「もうひとつの文士録」など。



久堀 裕朗 くぼり・ひろあき 公演解説 大阪市立大学 大学院文学研究科 准教授

1970年大阪府生まれ。京都大学文学部卒。大阪外国語大学(助手・講師・助教授)を経て、現在大阪市立大学大学院文学研究科准教授。研究テーマは、日本近世文学。主に人形浄瑠璃史。著書に『上方文化講座 菅原伝授手習鑑』(共編著)、主な論文に「浄瑠璃五段構成の衰微と淡路座」「享保期の近松と国家—『関八州繁馬』への道程」など。



国枝 よしみ くにえだ・よしみ 学生発表司会 大阪成蹊短期大学 観光学科 教授

大阪府生まれ。関西学院大学大学院後期課程満期退学。日本航空(株)国際線客室乗務員を経て、(株)ホテル日航大阪入社。マーケティンググループ長などを歴任。'03年4月、奈良県幹部職員に応募、観光交流局参与などを歴任。'07年4月より現職。日本観光研究学会常務理事、NPO観光力推進ネットワーク関西副理事長など。主な研究テーマは、世界遺産地域でのマーケティング・リサーチ。著書に、「これでわかる! 着地型観光」(共著)など



人形浄瑠璃文楽 主な出演者 プロフィール(敬称略)

竹本 千歳大夫 たけもと・ちとせだう 人形浄瑠璃文楽座・太夫

【芸歴】
昭和53年 四代竹本越路大夫に入門
昭和54年 4月 竹本千歳大夫と名のる
昭和54年 7月 朝日座で初舞台
平成17年 1月 八代豊竹嶋大夫の門下となる
【主な受賞歴】
平成20年 2月 平成18年度因協会奨励賞
平成21年 3月 第30回松尾芸能賞(優秀賞)
平成23年 4月 第30回(平成22年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞



竹澤 宗助 たけざわ・そうすけ 人形浄瑠璃文楽座・三味線

【芸歴】
昭和53年 国立劇場文楽第五期研修生となる
昭和55年 4月 竹澤団六に入門、竹澤団治と名のる
昭和55年 7月 朝日座にて初舞台
平成7年 4月 竹澤宗助と改名
【主な受賞歴】
平成12年 1月 第19回(平成11年)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
平成20年 2月 平成18年度因協会奨励賞
平成20年 4月 第27回(平成19年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞



吉田 和生 よしだ・かずお 人形浄瑠璃文楽座・人形

【芸歴】
昭和42年 7月 文楽協会人形部研究生となる
昭和42年 7月 現吉田文雀に入門、吉田和生と名のる
昭和43年 4月 大阪毎日ホールにおいて初舞台
【主な受賞歴】
平成12年 7月 平成11年度因協会賞
平成16年 1月 平成15年度大阪文化祭賞
平成18年 3月 第25回(平成17年度)国立劇場文楽賞文楽優秀賞



南あわじ市立南淡中学校 郷土芸能部 活動紹介

郷土芸能部は、南淡中学校の開校と同時に、創設されました。語りと三味線は、この道の第一人者で人間国宝にもなられた鶴澤友路師匠に月4回、また、郷土芸能部OBで淡路人形座員の吉田史興さんと鶴澤友吉さんに、それぞれ人形と三味線をご指導していただいています。今では人形、語り、三味線のすべてを生徒たちで上演できるようになりました。

【プログラム(敬称略)】

開 会 挨拶 :河内厚郎(神戸夙川学院大学教授)

基 調 講 演 :阪口弘之(神戸女子大学古典芸能研究センター長)

「関西から結ばれる日本のこころ～街道の人形浄瑠璃～」

学生研究発表:

①ミステリーツアー「清姫旅-ココロとカラダの癒し旅-」(立命館大学文学部)

②妹背山婦女庭訓“高校生プロデュース～人形浄瑠璃ツアーin 奈良”

(奈良県立奈良朱雀高等学校 奈良朱雀ビジネス企画部)

③出張人形浄瑠璃(大阪成蹊短期大学観光学科)

④「本物」から「リアリティ」へ-Local Education Curriculum としての人形浄瑠璃の可能性-

(関西学院大学大学院文学研究科)

⑤教育観光を通じた伝統芸能のリバイバルと地域振興-御坊市の「人形浄瑠璃文化」を事例に-

(立命館大学地域観光学研究会)

演 目 解 説 :久堀裕朗(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

「日高川入相花王 渡し場の段」「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～」

学生による実演:「日高川入相花王 渡し場の段」(南あわじ市立南淡中学校郷土芸能部)

文 楽 公 演 :文楽人形の解説・人形体験(人形浄瑠璃文楽)

ミニ公演「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～」(人形浄瑠璃文楽)



「はなやか関西～文化首都年～」の説明



阪口弘之氏(神戸女子大学古典芸能研究センター長)による基調講演



学生発表の様子(優秀賞授与:奈良県立奈良朱雀高等学校)



久堀裕朗氏(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)による演目解説



南淡中学校の上演「日高川入相花王 渡し場の段」



人形浄瑠璃文楽によるミニ公演
「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～」

②「人形浄瑠璃」ツアー

関西各地の人形浄瑠璃の取組に触れていただき、地域のファンになっていただくことで、「ひとづくり・ものづくり・地域づくり」の促進を図ることを目的に実施した。実施にあたっては、民間の旅行会社((株)ツアールランド)と連携し観光商品(有料)として造成している。

5本造成したが、催行人数の関係で3本中止することとなった(うち1本は現地集合・現地解散の「淡路人形浄瑠璃鑑賞会」に振り替えて実施)。

●VOL. 1 阿波人形浄瑠璃と阿波おどりの旅(徳島市)→中止

【催行日】: 平成 24 年 10 月 21 日(日)

【内 容】: ○ 車中にて阿波人形浄瑠璃の歴史や魅力をたっぷり解説!

○ 阿波おどり会館では、専属連「阿波の風」による演出とステージで阿波おどり体験

【料 金】: 9,700 円

●VOL. 2 近松ゆかりの地めぐりと文楽教室・富田人形浄瑠璃体験の旅

(尼崎市・長浜市・鯖江市)→中止

【催行日】: 平成 24 年 10 月 23 日(火)～24 日(水) 1泊2日

【内 容】: ○ 『曾根崎心中』の作者近松門左衛門ゆかりの地(尼崎市・福井県鯖江市)を園田学園女子大学近松研究所水田かや乃先生の解説で巡る

○ 福井県鯖江市主催の「近松誕生 360 年記念公演」文楽教室にて文楽解説と公演、また長浜市富田町に伝わる滋賀県選択無形民俗文化財人形浄瑠璃「富田人形(とんだにんぎょう)」を鑑賞、体験

【料 金】: 29,000 円

●VOL. 3 淡路人形浄瑠璃の旅～人形浄瑠璃を知る・観る・体験する～

(南あわじ市)→「淡路人形浄瑠璃鑑賞会」に振り替えて実施

【催行日】: 平成 24 年 11 月 1 日(木)

【内 容】: ○ 他では観ることができない淡路独自の演目を近世文学(主に人形浄瑠璃史)を研究されている大阪市立大学大学院文学研究科準教授久堀裕朗先生の解説付きで淡路人形座新会館にて鑑賞

【参加者】: 16 名

●VOL. 4 ～悠久のひとつきを～犬飼農村舞台鑑賞と阿波の木偶に触れる旅

(徳島市)→催行

【催行日】: 平成 24 年 11 月 3 日(土・祝)

【内 容】: ○ 車中にて阿波農村舞台の会会員による阿波人形浄瑠璃・農村舞台の歴史や魅力の解説つき!

○ 大自然に囲まれた犬飼農村舞台では、徳島ならではの遊山箱風ランチを満喫し、阿波人形浄瑠璃芝居や独特の仕掛けで瞬時にして背景が変わる襖カラクリを鑑賞!

○ 今秋リニューアルの阿波木偶資料館では、全国一を誇る阿波木偶の歴史と文化に触れ、馬之背駒蔵や初代天狗久らの貴重な作品を鑑賞

【料 金】: 11,600 円

【参加者】: 18 名

●VOL. 5 文楽ゆかりの地めぐりと文楽鑑賞の旅(大阪市)→催行

【催行日】: 平成25年1月14日(月・祝)

【内 容】: ○ 大阪市内の文楽ゆかり地(玉造～寺町筋～高津神社～国立文楽劇場)

を神戸夙川学院大学教授河内厚郎先生の解説で巡る

- 文楽初春公演を観劇いただく前に河内厚郎先生による「義経千本桜 すしやの段」「増補大江山 戻り橋の段」の演目解説
- 文楽座技芸員による、実際に舞台上で使用される人形を使ったわかりやすい文楽の人形解説
- 文楽初春公演(1月14日【第2部】)『寿式三番叟』『義経千本桜 すしやの段』『増補大江山 戻り橋の段』を一等席で鑑賞
- 公演の幕間に、お正月にちなんだお弁当が！
- 関西が世界に誇る伝統文化を若い世代に体験していただくため、学割価格(4,500円)を設定！

【料 金】：8,800円(学生は4,500円)

【参加者】：11名



淡路人形浄瑠璃鑑賞会
(H24.11.1)



VOL. 4 犬飼農村舞台ツアー
(H24.11.3)



VOL. 5 文楽ゆかり地ツアー
(H25.1.14)

さらに、「国外に向けた地域の魅力発信」の取組として、留学生を対象に滋賀県選択無形民俗文化財に指定されている長浜市北富田に伝わる伝統芸能である「富田人形浄瑠璃」の鑑賞や、長浜市のまちあるき等を体験してもらうモニターツアーを実施した。

●留学生モニターバスツアー“長浜まちあるきと富田人形浄瑠璃体験・鑑賞ツアー”

【催行日】：平成25年3月6日(水)

- 【内 容】：○ 「富田人形浄瑠璃」(滋賀県選択無形民俗文化財指定) 鑑賞
- 「黒壁スクエア」のまちあるき
 - 盆梅展鑑賞と抹茶体験
 - 長浜市の郷土料理「焼鯖素麺」を体験いただきます

【参加者】：47名

③プロモーション事業

本事業の取組を広く情報発信するために、前年度に引き続きホームページ上での情報発信や、「公式ガイドブック」を作成し、配付した。また、ガイドブックの内容をコンパクトに纏めた「リーフレット」も作成し、配付した。さらに、取組の認知度向上のために非常に有効と考えられるSNSとして新たに「人形浄瑠璃公式Facebookページ」も開設した。なお、具体的取組についても、実施時期を考慮しながらそれぞれチラシを作成し、これらのツールを活用しながらプロモーションを行った。

●ホームページ上での情報発信

「コア事業」「取組参加団体」等の情報をホームページ上より発信した。



●『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』公式ガイドブック

●『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』リーフレット

「コア事業」「取組参加団体」等の情報を冊子にまとめ、分かりやすいガイドブックを作成した。また、その情報を要約し、一目で分かるリーフレットの作成も行った。配付にあたっては、予算の制約上作成部数が少なかったため、取組参加団体及び構成機関の意見も参考に戦略的に配付を行った。



【配布先】

- ・文化会館・公民館
- ・観光協会等
- ・美術館・図書館などの公共施設
- ・国立文楽劇場
- ・高速道路PA、道の駅、私鉄等
- ・県庁・市役所等のロビー 等

●『はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」』公式Facebookページ

今年度初の試みとして、SNSとして知名度が高く取組の認知度向上に非常に有効と考えられる、Facebookページによる情報発信を行った。



● 具体の取組にかかるチラシの作成・配付

フォーラムやツアーの実施にあたっては、応募用紙を兼ねたPRチラシを作成し、公式ガイドブック等と同様戦略的に各方面へ配付を行った。



人形浄瑠璃フォーラムチラシ



VOL. 1 阿波人形浄瑠璃ツアー
チラシ



VOL. 2 近松ゆかり地ツアーチラシ



VOL. 3 淡路人形浄瑠璃ツアー
チラシ



VOL. 4 犬飼農村舞台ツアーチラシ



VOL. 5 文楽ゆかり地ツアーチラシ

④「人形浄瑠璃」タイアッププログラム

関西の「人形浄瑠璃」を国内外に広く情報発信するため、以下のタイアッププログラムが行われた。

●（公社）関西経済連合会/都市創造・観光委員会による「関西ブランド『文楽・人形浄瑠璃』の魅力発見」講演会

平成24年7月4日に（公社）関西経済連合会の都市創造・観光委員会にて「関西ブランド『文楽・人形浄瑠璃』の魅力発見」をタイトルに講演会が開催され、約60人の参加があった。

**公益社団法人関西経済連合会
都市創造・観光委員会 講演会(概要)**

1. 主 催 公益社団法人関西経済連合会
2. 開催日時 2012年7月4日(水) 15:00～17:00
3. 場 所 中之島センタービル29階(関経連会議室)
4. 参 加 者 約60名(関経連会員企業の方)
5. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 主催者挨拶
 - (3) ご講演
 - ① 第1部 「関西と文楽の結びつき～関西発祥のルーツを探る～」
国立文楽劇場 支配人 櫻井 弘 氏
 - ② 第2部 「文楽人形の魅力～女方を中心に～」
文楽人形遣い 吉田 和生 氏
 - (4) 閉会

6. 講演の様子




第1部 櫻井氏 ご講演風景 第2部 吉田氏 文楽人形を使っのレクチャー

(以 上)

●（公社）関西経済連合会/都市創造・観光委員会による歴史街道視察会

平成25年2月26日に（公社）関西経済連合会の都市創造・観光委員会にて歴史街道視察会が行われ、歴史街道とゆかりの深い淡路人形浄瑠璃の視察が行われた。

**公益社団法人 関西経済連合会
都市創造・観光委員会 歴史街道視察会(概要)**

1. 主 催 公益社団法人関西経済連合会
2. 開催日時 2013年2月26日(火) 9:15～18:00
3. 場 所 淡路人形浄瑠璃資料館、淡路人形座ほか
4. 参 加 者 約20名(関経連会員企業の方)
5. 視察行程および様子

(1) 淡路人形浄瑠璃資料館



中西館長による解説

(2) 淡路人形座



人形の解説

(以 上)

●（公社）関西経済連合会 第57回関経連インターナショナル・クラブ

平成25年1月28日に（公社）関西経済連合会の主催により、在関西の外国公館・外国経済団体のトップ等を対象とした講演会が行われ、人形浄瑠璃・文楽の魅力が発信された。

公益社団法人関西経済連合会
第57回 関経連インターナショナル・クラブ(概要)

1. 主 催 公益社団法人関西経済連合会
2. 開催日時 2013年1月28日(月) 18:30～20:30
3. 場 所 リーガロイヤルホテル28階「クラウンルーム」
4. 参 加 者 約30名(在関西の外国公館、外国経済団体のトップ等)
5. プログラム
 - (1)開会
 - (2)講演
テーマ「文楽の魅力」ー人形遣いの実演とともにー
文楽人形遣い 吉田 和生 氏 他2名
 - (3)主催者挨拶
 - (4)懇談
 - (5)閉会

2. 効果の把握と課題の抽出

本事業では、「人形浄瑠璃」に関する多種多様な主体、民間旅行会社、そして学生との連携の下、様々な取組を行うことによって産学官民一体となって関西ブランドとしての「人形浄瑠璃」を発信してきた。これら施策の効果を検証するため、年度当初に設定した評価指標により評価を行い、効果と課題を抽出する。

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」取組についての評価指標

テーマ	施策(案)	期待できる効果	アウトカム指標
はなやか関西～文化首都年～及び各取組参加団体の活動の認知度向上	①公式ガイドブック作成	人形浄瑠璃に関する情報に加え、観光情報としても利用が見込まれ、広域的なツーリズムによる経済波及効果の可能性が見込める。	各取組参加団体施設等への来場者数
	②公式ガイドブック簡易版リーフレット作成・イベントカレンダーの制作		各取組参加団体施設等への来場者数
	③「はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」公式Facebookページ」の開設	・人形浄瑠璃に関する共通プラットフォームとしての活用。 ・利用者のリアクションが確認できる。	Facebookページの「いいね!」の登録者数、取組参加団体HP等のアクセス数
	④「人形浄瑠璃」フォーラムの実施	・人形浄瑠璃コアファンの創造 ・人形浄瑠璃未体験者の観劇への動機付け	来場者数、アンケートによる「はなやか関西及び人形浄瑠璃」の認知度向上の確認
地域振興・経済波及効果	⑤学生会議の実施	新しい視点・発想による人形浄瑠璃のニーズの掘り起こし・継承・発展	提案数
	⑥＜有料ツアーの実施＞各取組団体公演・ゆかり地をめぐるツアー・プレミアムを付加したツアー・物語性のある広域的なツアー等	・ツーリズムによる経済波及効果 ・人形浄瑠璃とともに地域を体験してもらうことで、人形浄瑠璃及び地域のファンをつくり、リピーターになっていただく。またそのファンが興す「ブランド効果」が期待できる。	ツアー参加者数・アンケート結果
インバウンド観光	⑦他機関や経済団体主催の領事館フォーラム等のテーマとして、また各取組とフォーラム等をタイアップさせてPR	・本国にPRしてもらうことによるインバウンド効果 ・外国人の人形浄瑠璃ファンの創造	アンケート結果、各取組参加団体施設等への外国人来場者数

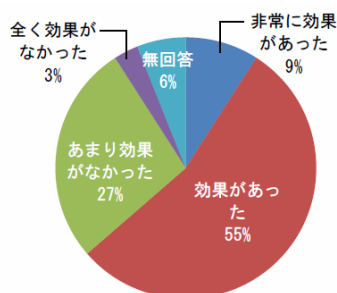
(1) 効果と課題

①「はなやか関西～文化首都年～」及び各取組参加団体の活動の認知度向上

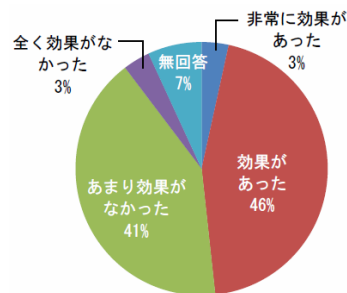
■公式ガイドブック・リーフレットの作成

「公式ガイドブック」及び「リーフレット」については、それぞれ1,000部、5,000部を作成し取組参加団体や構成機関からの意見を参考に各方面へ戦略的に配付を行った。その結果、来客数や他地域からの参加者が増えたという意見があり、アンケート結果でも「非常に効果があった」「効果があった」が6割以上と、取組参加団体の認知度向上に一定の効果があったことが視える。

【取組参加団体からのアンケート結果】



本事業が活動・商品等のPRに効果があったか



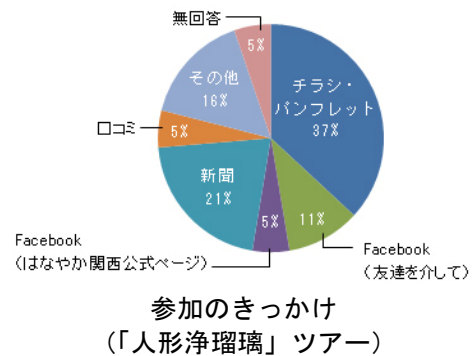
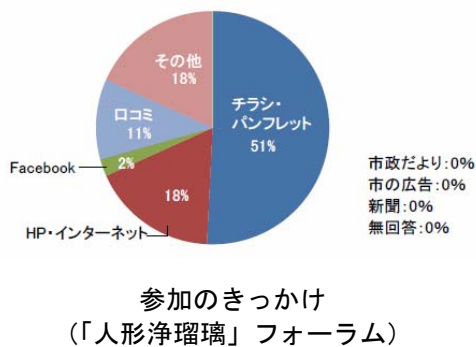
本事業が関西の各取組をつなぐことに効果があったか

■公式 Facebook ページの開設

今年度新たな試みとして行った「人形浄瑠璃公式 Facebook ページ」の開設については、「いいね！」の登録者数が 168 名（平成 25 年 3 月 25 日現在）となっており、必ずしも多いとは言えないが、登録者の友達に対する波及効果も考慮すると、Facebook ページを通じた情報発信についても認知度向上に一定の効果があったと思われる。

また、アンケート結果によると、フォーラムでは「HP・インターネット」及び「Facebook ページ」による参加者が 20%、ツアーでは「Facebook ページ」による参加者が 16% 存在しており、取組の回を追う毎に人形浄瑠璃公式 Facebook ページの認知度が増し、閲覧者が増えた結果と考えられる。

【各取組に対するアンケート結果】

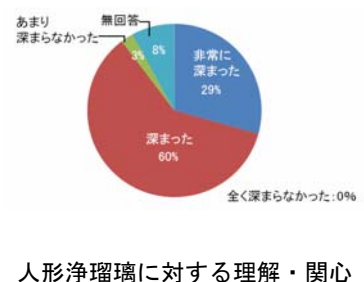
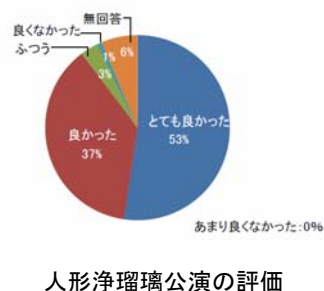
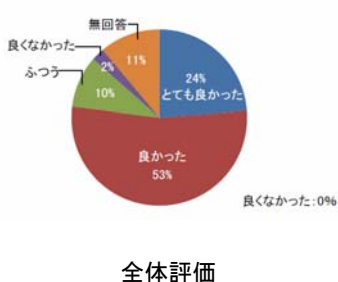


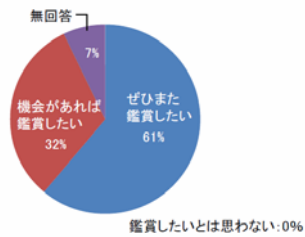
■「人形浄瑠璃フォーラム」の実施

「人形浄瑠璃フォーラム」については、定員 240 名に対して参加者数が 181 名であり（集客率 75%以上）、一定の集客がなされた。参加者へのアンケート結果においては、全体評価では、7 割以上が「とても良かった」「良かった」と回答しており、高い評価を得た。特に人形浄瑠璃の公演については、9 割が「とても良かった」「良かった」と回答しており、伝統芸能の伝承に取り組む学生及び“本物”である文楽による上演に対して非常に高い評価を得る結果となった。人形浄瑠璃に対する理解・関心については、「非常に深まった」「深まった」と感じる人が 9 割近くに及び、人形浄瑠璃をまた鑑賞したいと回答した人も 9 割以上という結果であった。また、「関西の本物の文化を感じることができた」という回答も 8 割以上であり、このフォーラムが「関西の本物の文化を発信するプログラムとして有効」と回答した人も 8 割以上という結果であった。

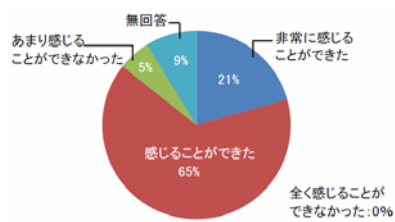
以上より、フォーラムの実施により人形浄瑠璃に対する関心の向上、文化首都圏・関西のアピールに一定の効果があったと考えられる。

【「人形浄瑠璃」フォーラムのアンケート結果】

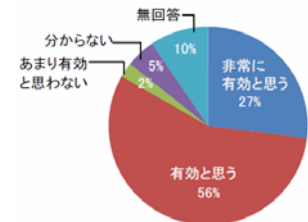




人形浄瑠璃の再鑑賞



「関西の本物の文化」を感じることができたか



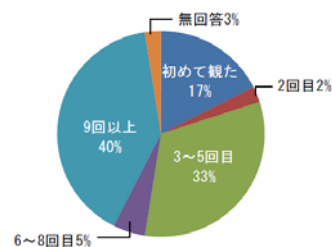
「関西の本物の文化」を発信するプログラムとして有効か

一方、参加者の多くが「人形浄瑠璃」の鑑賞経験豊富なコアなファンであったこと、多くが大阪、兵庫からの参加であったことなど、参加者層、地域が限定的であり、関西の一般の方に広く PR できたとは言いがたい。今後は、知名度向上の取組を通して、「はなやか関西～文化首都年～」の取組に関心を持つ方を拡大していくことが重要である。

【人形浄瑠璃鑑賞経験に関するアンケート結果】

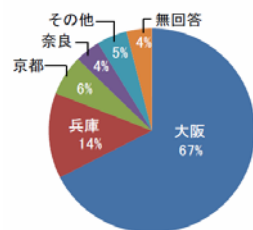


「人形浄瑠璃」の鑑賞経験
（「人形浄瑠璃」フォーラム）

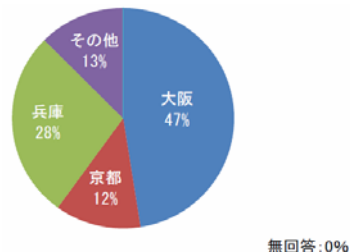


「人形浄瑠璃」の鑑賞経験
（「人形浄瑠璃」ツアー）

【参加者の居住地に関するアンケート結果】



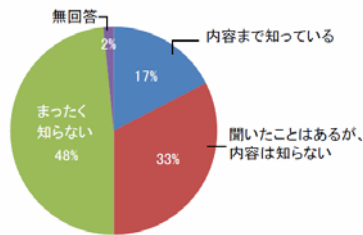
参加者居住地
（「人形浄瑠璃」フォーラム）



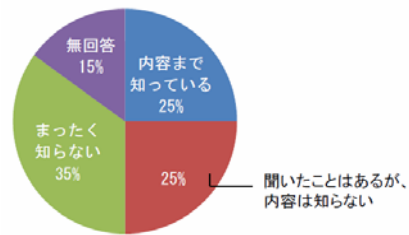
参加者居住地
（「人形浄瑠璃」ツアー）

「はなやか関西～文化首都年～」そのものに関しては、アンケート結果で取組を知らないと回答した人が、人形浄瑠璃フォーラムで8割以上、人形浄瑠璃ツアーでも6割に上った。また、「はなやか関西～文化首都年～」のホームページ等についても、見たことがないとの回答が人形浄瑠璃フォーラムでは7割近くに、人形浄瑠璃ツアーでも5割以上という結果であった。フォーラムやツアー参加者以外の一般の人々の認知度は極めて低いと考えられ、今後は、今まで以上に「はなやか関西～文化首都年～」の認知度向上に向けたプロモーション事業に注力していく必要がある。

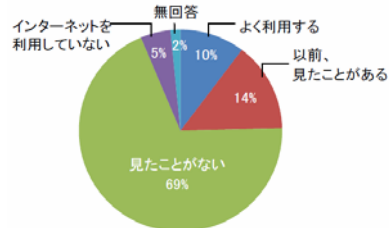
【認知度に関するアンケート結果】



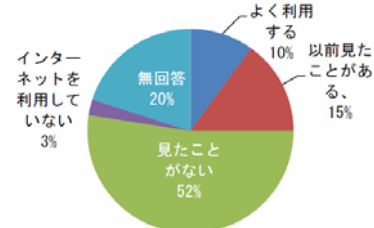
「はなやか関西～文化首都年～」の認知度
(「人形浄瑠璃」フォーラム)



「はなやか関西～文化首都年～」の認知度
(「人形浄瑠璃」ツアー)



ホームページ等の認知度
(「人形浄瑠璃」フォーラム)



ホームページ等の認知度
(「人形浄瑠璃」ツアー)

②地域振興・経済波及効果

■学生会議の実施

学生会議は、人形浄瑠璃フォーラムのプログラムの一つとして実施した。人形浄瑠璃に関わる対象を若年層に広げるために、「人形浄瑠璃を通じた関西の魅力を発信するアイデア全般」をテーマとして企画を公募した。

その結果7件の提案があり、厳正な事前審査を行いそのうち5件がフォーラムの場で発表されることになった。企画提案数は4件以内を想定していたが、準備期間が短いにも関わらず想定を上回る提案数があり、新しい視点・発想による人形浄瑠璃のニーズの掘り起こし・継承・発展に関して一定の成果があったと思われる。

■有料ツアーの実施

有料ツアーの実施については、5本のツアーを造成し、3本（うち、有料ツアー2本）のツアーを催行した。

参加者へのアンケート結果によると、全体評価では全てのツアーで7割以上が「とても良かった」「良かった」と回答しており、高い評価を得た。全体を通じて人形浄瑠璃の鑑賞に対する評価が高いが、専門家による解説についても良い評価結果となっており、演目等の解説と鑑賞の組み合わせにより人形浄瑠璃に対する理解を深め、ツアーへの満足度が向上したことが伺える。費用面では、有料ツアーとして催行した2本について、6割の人が「適切」との回答であったが、「高い」と回答した人も3割に上った。時間の面では、8割近くが「適切」という回答であった。人形浄瑠璃に対する理解・関心については、「非常に深まった」「深まった」と感じる人が9割以上であり、人形浄瑠璃をまた鑑賞したいと回答した人も9割以上という結果であった。また、このツアーで「関西の本物の文化を感じることができた」という人が8割以上であり、このツアーが「関西の本物の文化を発信するプログラムとして有効」と回答した人も8割以上という結果であった。

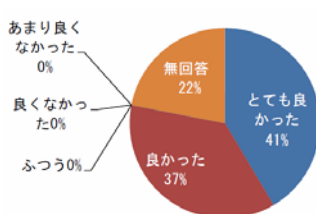
以上から、経済波及効果及び人形浄瑠璃のファン増加、文化首都圏・関西のアピールに一定の効果があったと考えられる。

一方、5本造成したにも関わらず催行人数に満たず2本が中止になっていること、また催行したツアーについても参加者が少なかったことから、ツアーによる経済波及効果、

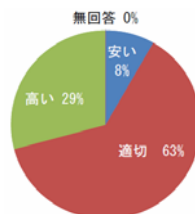
ファン増加の効果が必ずしも十分に発揮されたとは言いがたい。

原因として、有料ツアーについて費用が高かったという意見が少なからず寄せられたことから、ツアー内容に対して設定料金が高かったことが考えられる。また、実施前に募集チラシを作成して各方面に配布したが、その効果が弱かったことも原因の一つと考えられる。いかに費用を抑えながら魅力的なツアーを造成できるか、いかに効果的な広報が実施できるかの両面から、今後検討が必要である。

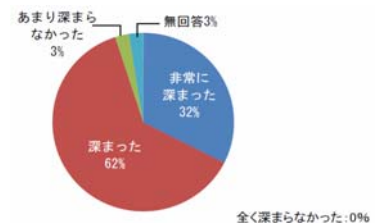
【「人形浄瑠璃」ツアーのアンケート結果】



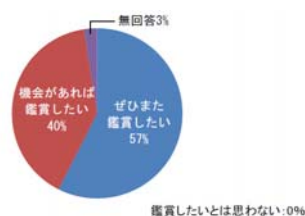
全体評価



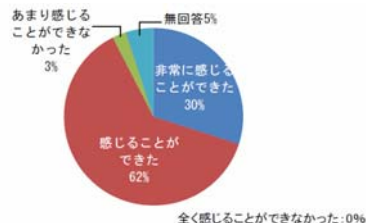
ツアー費用について（有料ツアーのみ）



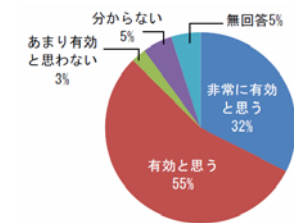
人形浄瑠璃に対する理解・関心



人形浄瑠璃の再鑑賞



「関西の本物の文化」を感じる事ができたか



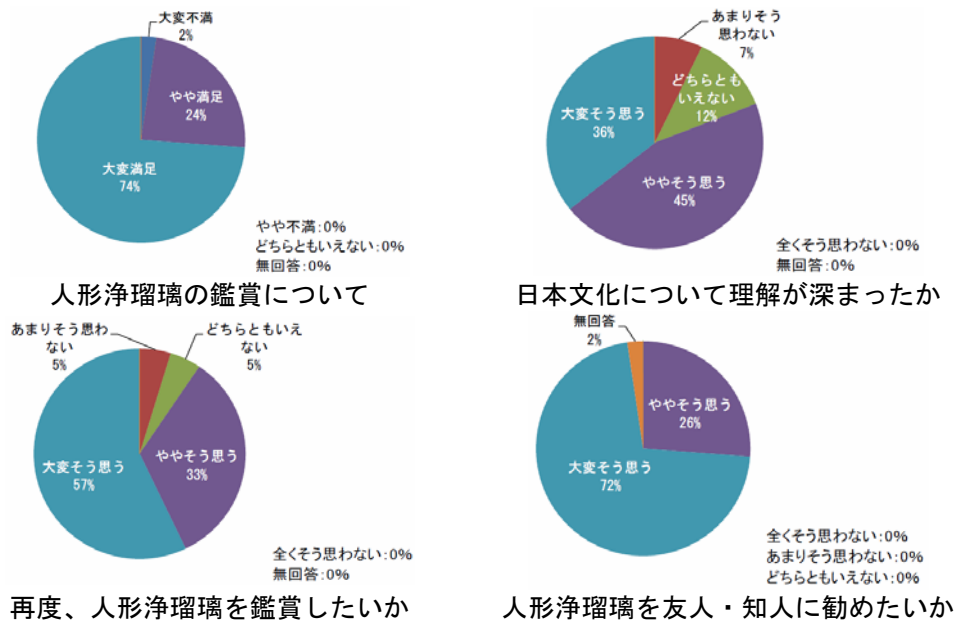
「関西の本物の文化」を発信するプログラムとして有効か

③インバウンド観光

（公財）関西経済連合会のタイアッププログラム「第 57 回 関経連インターナショナル・クラブ」においては、約 30 名の在関西の外国公館・外国経済団体のトップ等に対して人形浄瑠璃・文楽の魅力を発信しており、インバウンド効果・外国人の人形浄瑠璃ファンの創造という面では一定の効果があったと考えられる。

留学生を対象とした人形浄瑠璃モニターバスツアーについては、定員 40 名で募集したところ参加者数はそれを上回る 47 人という結果であり、アンケート結果でも「再度、人形浄瑠璃を観たい」「人形浄瑠璃を友人・知人に勧めたい」と回答した人が 9 割以上という結果であった。特にまち歩きと郷土料理、伝統芸能の鑑賞というツアー内容が非常に良い評価を得た。「人形浄瑠璃を体験し、日本文化へ興味を持った」「日本文化への理解が深まった」という意見も多く出された。また、今回実施したモニターバスツアーでは感想を SNS 等を通じて本国へ発信してもらうことを条件としており、ここでもインバウンド効果・外国人の人形浄瑠璃ファンの創造という面で一定の効果があると考えられる。

【モニターツアーのアンケート結果】



一方、領事館フォーラムとのタイアップについては、予算の制約から今年度は実施しておらず、外国人来場者等のアウトカム指標についても把握できなかった。

(2)効果と課題の総括

①「はなやか関西～文化首都年～」及び各取組参加団体の活動の認知度向上

プロモーション事業の実施やフォーラム等の開催により、人形浄瑠璃及び各取組参加団体の活動の認知度向上、文化首都圏・関西のPRに一定の成果があったと考えられる。

しかしながら、必ずしも関西において広く一般に認知される取組にはなっていないため、「はなやか関西」の認知度向上に向けてより効果的なプロモーションについて検討が必要である。

②地域振興・経済波及効果

学生発表やツアーの開催により、若年者層の取り込みやツアー実施による経済波及効果、文化首都圏・関西のPRに一定の成果があったと考えられる。

学生の活用については、この2年間で、大学・学生とのつながりが生まれつつあることから、今後も学生を活用したイベント等を検討し、つながりの維持・拡大を目指す必要がある。

ツアーについては、前述のとおり参加者が限定的であり、より魅力的なツアーのあり方及び効果的な広報手段について検討することが必要である。

③インバウンド観光

タイアッププログラムやモニターツアーの開催により、インバウンド効果、外国人の人形浄瑠璃ファンの創造に一定の成果があったと考えられる。

しかしながら、開催本数が少なく、関西の魅力を外国人に対して十分に発信しているとは必ずしも言えないため、タイアッププログラムの開催数を増やすなど、外国人に関西の魅力を積極的にPRし、インバウンド効果を高めていくことを検討する必要がある。

(3)「関西のブランド力向上推進有識者委員会」委員の意見

- ・ ツアーは参加者が少なかったのは仕方がない部分もある。
- ・ 一番の成果は学生を巻き込めたことだ。彼らに問題意識を持ってもらえた。
- ・ 今回の徳島県など、非常にやる気のある自治体があってよかった。次年度もこういう自治体が出てくると良いと思う。
- ・ 今年度の事業の詳細は良く知らないが、熱心にやっていたにも関わらずメディアに取り上げられていない。「はなやか関西～文化首都年～」について関西全体で調べたら多分9割が知らないだろう。今後、関西全体に発信するようにやってもらいたい。
- ・ 評価指標について、事前にアウトカム指標を作っておけば、事後に事業が達成したか否かが分かる。そしてPDCAサイクルの形にしていくべき。
- ・ 事業の中心となって活動した自治体に何か渡せるようなことができれば、欧州の文化首都と同様に盛り上がるだろう。今後、考えるべき点である。
- ・ 「はなやか関西～文化首都年～」に参加したことによって、参加した地域に何が生まれたかが重要。例えば、若い人がたくさん来るようになったとか、連携組織ができたとか、広域ネットワークが自立的に生まれたとか。ビフォア・アフターが重要だ。特に広域ネットワークが形成されることが一番望ましく、企業資金を得てやっていく組織が生まれるということにも繋がる。フランスのリールでは2年おきに「リール3000」というアートビエンナーレを行うようになった。3000年まで続けようとの思いを込めた名称だ。このように、「一過性」から「継続性」へと移っていく仕組みが重要だ。
- ・ 一年の取組を通してどういう成果が残ったのか、取組参加団体として参加したことで、その地域に何が残ったのかという視点が重要だ。
- ・ 取組参加団体や地域に何か足跡が残り、その足跡がスタートになって地域が活性化することが望ましい。「はなやか関西～文化首都年～」に参加した団体が、参加したことを誇りに思って語りぐさになるようなことを残してあげられれば良いと思う。例えば、経済産業省の近代化遺産の取組などはプレートを渡している。高価な物ではないと思うし、そのような仕掛けも必要ではないか。
- ・ (公社) 関西経済連合会ではタイアッププログラムとして人形浄瑠璃の公演会等を行ったが、自治体を始めみんなを巻き込む仕組みを作るなど、もっと知恵を使うべきだと思う。

II.次年度以降の展開方策

本事業の実施を踏まえ、次年度以降の展開方策について検討を行う。その際、近畿圏の活性化を図るため、近畿圏広域地方計画の趣旨を活かして多様な主体との連動性を向上させ、広域的な連携支援のあり方となるよう留意する。

1. 次年度以降の展開方策について

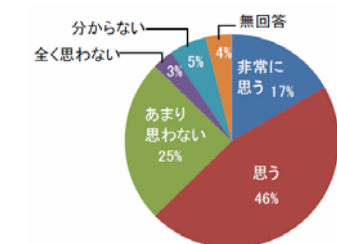
(1)基本的な考え方

■「はなやか関西～文化首都年～」の取組は「意義がある」との意見が大半

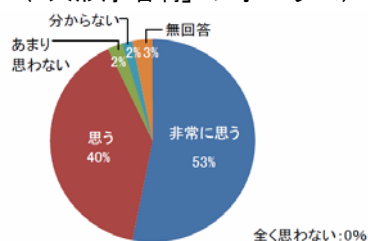
本事業によるアンケート結果より、関西は本物の文化が今も根付く、一番の地域（文化の首都）であると多くの人々が認識していることが分かった。また、「はなやか関西～文化首都年～」の取組（「本物の文化」をテーマとし、文化の継承・発展に取り組むとともに、国内外へ発信する）に意義があるとの回答も非常に多かった。

歴史的・文化的な「本物」の地域資源が豊富に存在する関西の優位性を活かし、「はなやか関西～文化首都年～」の取組を引き続き実施していく必要がある。

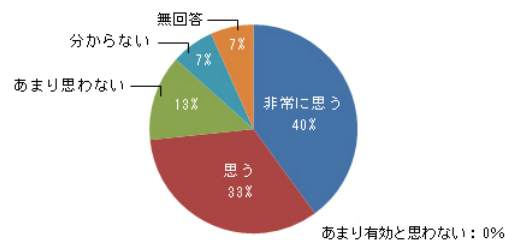
【「はなやか関西～文化首都年～」に関するアンケート結果】



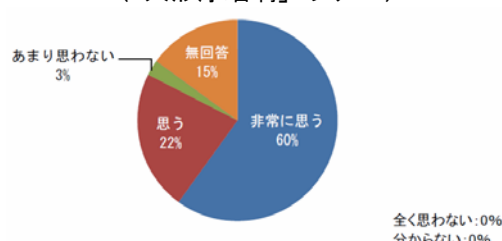
関西が文化の首都だと思うか
（「人形浄瑠璃」フォーラム）



「はなやか関西～文化首都年～」
の取組は意義があるか
（「人形浄瑠璃」フォーラム）



関西が文化の首都だと思うか
（「人形浄瑠璃」ツアー）



「はなやか関西～文化首都年～」
の取組は意義があるか
（「人形浄瑠璃」ツアー）

■ できることを着実に積み上げ実績を残す

今後、「はなやか関西～文化首都年～」のムーブメントを拡大していくためには、認知度を向上させ、また取組参加団体が積極的に参加することでネットワークが生まれ、継続的な取組が可能となる、という体制作りが必要である。そのためにも、関係機関や取組参加団体、有識者委員会委員等のそれぞれが協力し合い、可能な限り資源を出し合い、実績を着実に積み上げ、「はなやか関西～文化首都年～」の輪を広げていくことが重要である。

また、望ましい推進体制の構築に向けて、様々な形態を試行・検証していくものとする。

(2)今年度の効果と課題を踏まえた具体的な取組方針について

①「はなやか関西～文化首都年～」の認知度向上に向けて

■ アドバイザー体制の継続・拡充

本事業においては、実行委員長に有識者委員会委員より

- 河内 厚郎氏（神戸夙川学院大学 教授）

に、またアドバイザーとして

- 久堀 裕朗氏（大阪市立大学大学院 文学研究科 准教授）
- 国枝 よしみ氏（大阪成蹊短期大学 観光学科 教授）

の2名に就任いただいた。

さらに近世芸能史の専門家として

- 阪口 弘之氏（神戸女子大学 古典芸能研究センター長）

に、近松研究の専門家として

- 水田 かや乃氏（園田学園女子大学 近松研究所研究員（教授））

にご協力いただきながら各取組を実施してきた。

上記有識者の協力がなければ、開催できなかった事業は多い。

「はなやか関西～文化首都年～」を通じて文化首都圏を確立していく上では、関西の本物の文化をリードする方々の協力は不可欠であり、次年度以降も、テーマに関して通曉する有識者を配置することが望ましい。

これに加え、「はなやか関西～文化首都年～」の情報発信強化の観点からは、情報発信・広報に強みを持つ有識者の方にも協力いただけるよう積極的に働きかけることが必要と考えられる。

■ 公式 Facebook ページの継続

「人形浄瑠璃」公式 Facebook ページを通して生まれた繋がりを次年度以降にも引き継ぐために、引き続き公式 Facebook ページの取組を継続することが重要である。

■ 関係機関の参加促進

関西が文化首都圏を強く推進していくためには、関係機関の協力が不可欠と言える。このため、本事業では関係機関の文化・観光部局の担当に新たにオブザーバーとして参加いただき、取組に対しての調整等を行ってきた。引き続き、プロモーション等の面で協力・連携しながら取組を実施していくこととする。

また、来年度以降は、関西の観光や魅力発信に取り組む民間団体等との関係強化にも取り組むことが重要と考えられる。

■ 各地域の取組団体への積極的アプローチ

各地域の取組団体に対しても「はなやか関西～文化首都年～」の認知度は高いとは言えないため、広く協力を得るために、関係機関の協力を得ながら事務局等から積極的にアプローチを行い、参加打診を行っていく必要がある。

②地域振興・経済波及効果の強化に向けて

■ 学生の参加促進

本事業では、

- 関西の本物の文化である『人形浄瑠璃』を新しい世代に受け継ぐ
- 人形浄瑠璃に係わる対象を若年層にも広げる
- 『文化首都圏・関西』づくりに新鮮な意見を取り込む

という効果を期待して人形浄瑠璃フォーラムの中で学生会議や学生による人形浄瑠璃の実演を行った。これらの取組はアンケート結果でも高い評価を得ており、一層の参加促

進に向けた取組を検討することが重要である。

■ 民間の参加促進

「はなやか関西～文化首都年～」の魅力向上のためには、民間の協力が不可欠である。本事業では民間の旅行会社による人形浄瑠璃ツアー（有料プログラム）を観光商品として造成した。ツアーの実施は地域振興に有効であると考えられるため、来年度以降も今年度の結果を踏まえ、より魅力的なツアーの実施方策を検討することが重要である。

その他、「はなやか関西～文化首都年～」を一つのコンテンツとした観光商品の開発等の可能性について、民間事業者と協議していくこととする。また、ビジット・ジャパン地方連携事業を始めとする既存の施策・制度を活用することも有効であると考えられる。

③インバウンド観光の強化に向けて

関西の価値を国外へ発信するために、今後も関係機関や経済団体等が主催する国外向けの取組とタイアップしていくこととする。また、関係機関や経済団体等と連携し、外国人対象のモニターツアー等の実施を検討していくことが重要である。ビジット・ジャパン地方連携事業を始めとする既存の施策・制度を活用することも有効であると考えられる。

2. 「人形浄瑠璃」(2012 年度)の継続について

■ 持続可能な形で取組参加団体のネットワークを継承する

本事業は平成 25 年 3 月をもって終了する。しかし、「はなやか関西～文化首都年～」の取組は、継続することにより認知度及び効果が高まっていくと考えられる。アンケートにおいても、「人形浄瑠璃に関して地域が一丸となって行う取組」を継続すべきという意見が大半という結果であった。このため、本事業により形成された取組参加団体のネットワークを継承していく必要がある。

「人形浄瑠璃街道連絡協議会」は、人形浄瑠璃についての関西各地の交流・連携を趣旨に発足した組織である。このような既存の組織に対して、今年度形成されたネットワークを人形浄瑠璃の更なる発展や連携等に活用してもらえるよう継承していくこととしたい。